◆ 東京大学大学院外国人研究生に関する規程

第1条 外国人にして、本学大学院において、特殊事項について研究しようとする者があるときは、当該研究科又は教育部（以下「研究科等」という。）において支援がないかぎり、外国人研究生（以下「研究
生」という。）として入学させることができる。

第2条 研究生として入学することのできる者は、次のとおりとする。
（1）東京大学大学院学則第16条に該当する者
（2）研究科等において適当と認めた者

第3条 研究生の入学の時期は、学年の初めとする。ただし、特別の事情があるときは、研究科等の教
育会議（以下「教育会議」という。）の議を経て、学年の中途に入学させることができる。

第4条 研究生として入学を志願する者の入学手続きについては、東京大学大学院外国人学生の入学に関す
る規程を準用するほか、特に研究しようとする事項について、当該の研究科長又は教育部の部長（以下「研究科長等」という。）に願出なければならない。

第5条 入学志願者の選考は、その提出書類により、教育会議で審査のうえ、決定する。

第6条 研究生は、各研究科等に所属し、指導教員の指導を受け、研究に従事する。

第7条 指導教員において必要と認める場合は、研究科長等は、教育会議の議を経て、研究者に対し、研
究科等の講義、演習及び実験等に出席を許可することができる。

第8条 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、その研究を更に継続しようとするときは、理由
を付して研究科長等に願出なければならない。

第9条 研究生は退学しようとするときは、指導教員を経て、研究科長等に願出なければならない。

第10条 研究科長等は、研究生に適しないと認められる者があるときは、教育会議の議を経て、退学を命
ずることができる。

第11条 研究生で、研究報告を提出しその成績が良好なものに対しては、本人の願出により、教育会議の
議を経て、研究証明書を付与する。

第12条 研究生の検定料、入学料及び授業料については、東京大学学部通則の研究生に関する規定を準用
する。ただし、特別の事情がある場合は、研究科長等の申請により、これを従来しないことがある。

附則 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附則 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附則 この規則は、平成17年4月26日から施行する。

附則 この規則は、平成23年6月1日から施行する。

附則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。